



請 願 書

(請願名)

「歴史の道 万世大路」副読本の発刊を求める請願

紹介議員

米沢市議会議員 相 田 光 照
 " 鳥 海 隆 太
 " 相 田 克 平
 " 小 久 保 広 信
 " 高 橋 壽
 " 山 村 晴
 "
 "

請願者住所 米沢市八幡原五丁目 4 1 4 9 - 9

氏 名 (団体の場合は団体名及び代表者名)

歴史の道土木遺産万世大路保存会

会長 梅 津 幸 保



電 話 0 2 3 8 (2 8) 5 3 8 1

平成 29年 8月 28日

米沢市議会議長 様

様式 13 - 2

東北中央自動車道福島大笹生 I C から米沢北 I C 間が、平成 29 年度開通予定となり長年にわたりご努力された関係者各位に衷心より感謝申し上げます。

特に福島、山形県境間には 8972m の日本で 5 番目に長い栗子トンネルが建設され、米沢市並びに山形県にとって平成の歴史に残る画期的な大事業です。新栗子トンネルの完成は、初代山形県令三島通庸^{みらつね}による栗子山隧道貫通から数え 4 代目となります。初代（明治の隧道）・2代（昭和の大改修）・3代（栗子ハイウェイ）・4代（東北中央自動車道）であり、栗子峠改修の変遷は米沢市発展の歴史であり山形県が明治の隧道により、東京とつながった歴史でもあります。

明治 14 年 10 月 3 日、明治天皇が東北巡幸の折、米沢を発ち整備された山形県側の刈安新道を通り栗子山隧道西口での開通式に臨まれ、福島県側の中野新道を経て東京に戻られました。年が明け、明治 15 年 2 月 9 日、属官久留米清隆^{せつかんく るめきよたか}が県令代理で宮内省に参内し、米沢から福島に至る新道を「万世大路」と称すべき旨の達しをいただきました。

万世大路には、多くの土木遺産があります。平成 22 年に制定した「米沢市景観条例」で景観重要樹木第 1 号に指定されたのが、旧万世小学校跡地に聳える「万歳の松」ですが、これは明治天皇がご巡幸の折に小休止なされた際に野点を差し上げた場所を記念して植えられた由緒ある松です。

更に万世大路の歴史が凝縮され石に刻まれた「栗子隧道碑記」が、現在の国交省福島河川国道事務所栗子維持出張所の構内に建てられています。国交省で石碑の歴史的価値の重要性を評価し、現在建設途上の米沢道の駅に移転建立の運びとなっています。

観光面からも万世大路が、県の内外から注目されています。昨年平成 28 年には、宮城交通のバス 4 台が万世大路を訪れ、今年は福島交通の企画で栗子隧道まで歩く催しが、4 回計画されています。

このような山形県の宝でもある万世大路の歴史を広く米沢市の子供たちに知ってもらうためにも、東北中央自動車道完成記念事業の一つとして「歴史の道万世大路」の副読本を作成発刊していただき、市内の小中学生に配布し米沢市の歴史と社会科や道徳の学習に役立てていただきとしたいと思いますので、地方自治法第 124 条の規定によりお願いいたします。

たい

記

1. 土木遺産でもある「歴史の道万世大路」に関する副読本の発刊

平成 29 年 9 月 日

米沢市議会

議長 島軒 純一 様